



福祉と住環境を考える

# ふくてっく

2005年1月  
第62号

特定非営利活動法人  
ふくてっく

559-0034大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC ITM棟 11F Eビル  
TEL/FAX 06-6614-6800 ホームページ http://www.occn.zaq.ne.jp/fukutech/

二月定例学習会  
トイレのすべて展 基調講演

平成9年2月7日(日)  
株式会社排泄総合研究所  
所長 浜田 きよ子氏

\* \* \*

排泄総合研究所は株式会社  
の体をなしていますが  
実はNPOみたいなもので  
す。情報館「むつき庵」を  
運営しており、出展企業に  
お願いして、多数のトイ  
レや日本中のおむつ(市販  
の8割、すべて見本差し上  
げられる)を展示していま  
す。トイレは建築・医療と  
の連携が大事。アセスメン  
トが肝要、だから多くのも  
のを見て考えて欲しいと思  
うのです。

むつき庵を運営する中  
で、トイレのことは驚き  
の連続です。おむつへの抵  
抗感、それまではいいて



## トイレのすべて展 基調講演 ユーザーの視点でトイレを考える

たパンツの違いによるもの  
です。調査によると男性の  
6割はトランクスを愛用し  
ているので、その解放感が  
「はくパンツ」では得られ  
ず、なかなかはじめないの  
です。

おしっこするときの姿勢  
もひとさまさまで、パンツ  
の窓25%、横から10%、上  
からなど・人様々ですが  
おむつを選びを配慮してお  
むつ選びをしないといけま  
せん。男性ペニスのかい巻  
きについても、上に向ける  
か下に向けるか、それぞれ  
に一長一短があります。同  
一利用者に対して施設や  
介護スタッフ個々でも、そ  
れぞれの思いこみで対応が  
まちまちという事がありま  
す。

着物生活してきた女性の  
ご老人で下着を着けてない  
習慣のかたには、さてもん  
なおむつがいいのしょう  
か。それには、生理に対し  
てどうされていたかという  
ことが参考になります。

人の排泄は謎だらけで  
す。明治のころは女性も立  
て小用をしていました。女

性トイレにも大用、小用が  
あったのです。そんな事情  
がわかると痴呆高齢者の行  
為にも理解できるのです。

排泄に関わる不都合には  
医療的な要素が大きいので  
すから医療専門家との密接  
な連携のもとに、問題の原  
因がどこにあるかをよく分  
析する必要があります。そ  
の上で解決方法を探するの  
です。

おむつにもいろいろなス  
タイルがあるので、概  
しておおざっぱに選んでい  
るのが現状です。例えば、  
はくパンツでは、横に寝る  
とすぐ漏れる。前に重ね  
ても逆効になるばかりで  
す。選び方はその人にあわ  
せて、伸縮パンツタイプ・  
ベルトタイプ・布おむつカ  
バー(きつくて痛い)な  
ど、豊富な種類から選択し  
ます。最近のものは、はき  
ごちよくおしやれなもの  
があります。おむつだつて  
下着なのです。

私は、母の介護をしたと  
きに、「排泄は人の尊厳に  
関わる」ということを痛感  
しました。排泄は日々のこ  
とでありながら、話し合う  
こともない。もっとおら  
かに、排泄について話し、  
介護支援が望まれます。

### 定例会のお知らせ

2月  
日時 2月5日(土) 午後1時 30分～5時  
場所 阿倍野市民学習センター 講堂  
(あべのベルタ3階)

内容 震災フォーラム  
「震災その前に」住宅・近隣・まちづく  
り」

主催 ボランティア情報センター・ふくてっく・  
「震災10年神戸からの発信」推進委員会

日時 3月5日(土) 午後1時 30分～5時  
場所 大阪市立社会福祉センター 3階会議室  
内容 未定

## ふくちゃん



NPO法人 ふくてっくの鳥たち

## トイレに関わる 情報発信を目指して 「トイレのすべて展」 「トイレシンポ」 を開催

排泄は障害の有無や年齢  
に関係なく、毎日繰り返し  
行われている行為です。誰  
もが「シモの世話にはなら  
ずに人生を全うしたい」と  
考えています。排泄に対す  
る気持ちはとてもデリケー  
トですし、プライバシーや  
尊厳にもかかわってきま  
す。それだけに、排泄用品  
の選び方は使用者にとつ



基調講演 浜田氏とモデルさ



シンポジウム

「トイレのすべて展」  
は2004年10月28日  
(木)から11月7日(日)  
まで、大阪南港ATC・I  
TM棟 11階のATCエィジ  
レスセンター内テマゾー  
ンで開催、使う人の症状に  
合わせた排泄用具の選び方  
や地下鉄全駅のトイレマッ  
プなどのトイレ情報とも  
に、12社のメーカーに最新  
のトイレ周辺機器を出展し  
ていただきました。

毎日、見学の方も200  
人からあり、新しい発想の  
トイレ機器の説明にどよめ  
きの声もあがり、メモをと  
りながら熱心にご覧になっ  
ていました。質問も多かつ  
たのですが、見学時間に制  
約があり、十分な説明が出  
来なかったのが心残りで  
す。

「排泄用具の選び方」の  
パネルを読まれて、コピー  
が欲しいと言われる方も多  
く、この辺の情報はもっと  
研究する余地があるように  
思われました。中央のトイ  
レ川柳コーナーではニヤリ  
とする殿方もあり、ホット  
するスペースになったよう  
です。

最終日の11月7日には、  
排泄総合研究所の浜田きよ  
子さんの基調講演があり、  
排泄の仕組みと用具との関  
係を、会場からのモデルさ  
んと共に分かりやすく説明  
していただきました。その  
後の「トイレシンポジウ  
ム・ユーザーの視点でト  
イレを考える」では、浜田



(三浦 久子)

皆様をはじめ多くの方々  
のご協力があればこそ  
と、この場を借り御礼申  
しあげます。アンケート  
の集計も終わり、近々報  
告書も完成しますので、  
皆様には詳しい内容をお  
伝えできると思います。



### 集住協働住宅

#### 50歳以降のライフデザイン どうなる? どうする!



12月定例学習会

平成5年12月4日(土)  
パルパローレ(設計事務所)  
代表・NPOサ  
ポート結 理事長 山  
口 雅子氏

背景 茹で蛙にならないうちに、私は設計事務所では主に高齢者・障害者の住宅設計を手掛けてきました。NPOサポート結は2年目になります。これまでに850人ほどの年寄りとして思いましたが、70〜80は年寄りではない。70〜75でシニア、75〜80でようやくシニア老人、80超が老人といえるのです。老人は病気になるれば病院へ行きませんが、治っても家族がいればいいけれども、一人暮らしでは帰るところがなく、老健や最後は特養、また病

院と、転々とせざるを得なくなり。そこで定年を迎えて住まいを変える人の第1は生活費の安い海外、2番目は自然豊かな田舎、3番目は駅前の老人マンションだといえます。

家族観もずいぶん変わりました。子どもも大人も老人さえも家にいる時間はほとんど少なく、老後、子どもと暮らしたいという人は減っています。でも一人で生きてゆけるかという・・・できない。75になるとだれでもやると老人らしくなるものです。痴呆になっても病気がないうちはなんとかできるが、病気がたり、骨折でもすると一人暮らしはできません。でも子どもと同居して、という時代ではありません。今は子どもに投資しても回収できない。

「茹で蛙現象」というのを存じですか。じわじわ温もると危険がわからないうちに危ない。危ないといわなかった時にはもう逃げる体力がない。社会変化はまさにその火

のです。戦略的ライフデザイン  
①初めの一步は「か・き・く・け・こ」  
では、どうすれば社会の変化に対応できるか。特に親の考え方を考える。き・け・こを育てたのか、自分で考え、自分ワールドを創る。楽しむためにどうしたらいいか考える。

なうちは働けばよいので、経験知の整理。今までの経験知の棚卸しが必要。こ・け・こ(変換)とコラボレーション。社会にあわせて個人も変換すべきです。そのためには、自発・自活・自律・育自・自覚・自治を目指すのです。

こ・け・こは、一人でできること。しかし、一人では生きていけない時が来ます。今(2005)までの10年を振り返ると、私の提唱する集住協働住宅は、一つ屋根の下に暮らして社会を創りましょうというものです。血縁で結ばれた家族や、地縁で結ばれたコミュニティに替わって、

生き方の考え方で結ばれたコミュニティです。安心して暮らせるための経済的支援のしくみと、いいでしょう。集まって住み、いっしょに働くことができる。

共に暮らすだけならコレクティブハウスですが、そこに働く機能を付けています。キーワードはリセット・変換です。自助・互助・補助の機能が働くしくみのある住まいに社会家族のネットワークがそれを補助するのです。大家さんが土地とスケルトンを負担し、有限会社人人畑(にんじんばたけ)がこれを一棟借りして運営します。入居者はインフル(内装・設備)と家賃を負担する。ここにNPOシニア生活設計サポート結がCB(コミュニティビジネス)を実施します。いわば、コレクティブハウスとCBの場が合体したようなものです。

要点は①ハードとソフトが統合されたシステム②相互依存・共有価値③CB参加で生産活動④住職接近で生涯現役⑤ネットワークが暮らしを支える。住民の、住民による、住民のための「終の住まい」です。実はまだ第1号ができていませんが、目標は10戸で

### 子ども 木工教室

#### 平野区民まつり

10月31日(日) 前日の雨が嘘のような晴れとなりました。ここは2年ぶりの参加です。様々な木片を使っている自由木工で、子どもたちは思い思いに作っています。狭い場所でしたのでケガのないように目配りしながらの木工作业でした。

一人の子が長時間かけて色々なものを作っていました。お母さんに聞く



(光川 環代)

と「家ではさせられないので」とのことでした。家庭の事情、住宅の事情、子どもの本場の居場所が狭くなっているのではないのかと感じました。

による間接サポート)があり、5つの安心(自助・省金・自立・生涯現役・個人では防げない生活防衛)があります。とにかく、社会の変化を自覚することです。介護保険は破綻するもの。これから老いる私たちの生活は、益々厳しくなるけれども、それを逆手にとって、もっともっと楽しくなる自分ワールドを創るうちはありませんか。(中北 清)

### 浪速区 ふれあいまつり

昨年の6月から月1回の割で打合せを重ね、11月13日(土)の本番を迎えました。私は仕事等の都合で全てには参加できませんでしたが、有馬さん、長岩さんも加わっていただきました。

汽車型エンジンピツ立て・ミニハウス・ジグソーパズル・自由木工を用意しましたが、昨年よりも人気が高く、他のコーナーでは暇そうなお客もありませんでしたが、ふくてつくはほとんどが無くなりました。ジグソーパズルは準備に手間が



(光川 環代)

かかり大変でしたが、長岩さんと協力し合い、当日に間に合わせる事ができました。

有馬さんのリーダーシップとみなさんの協力で無事終えることができました。ありがとうございました。参加者 有馬さん・高木さん・小川さん・親子・長岩さん・葛西さん・光川 運搬 大和建設 前田さん

### 池島ふれあいまつり

11月23日(祝) お天気もよく人も最高。港区池島公園は沢山の人でごったがえし、木工教室も大人気!と今回は喜んでばかりもいられない状況でした。

今年木工の場所が広く、木片もいろいろ多く用意できました。自由木工で無料、誰でも参加できるという事で人があふれ、ランドシートをはみ出た。周りの植込みの中まで人がいっぱいです。当然作業台も足りない。土の上でノコギリを使うということになります。指導するにも目が行き届かず、やりたい



(和泉 秀子)

放題です。それでもケガもなく、みなさん楽しんでくれたことは嬉しいのですが、終わって後に作りかけの作品・木片・釘・工具がそこらじゅうに放置してあり、疲れがどつと出たのでした。

来年からは何らかの制限が必要ではないかと強く感じた木工教室でした。参加者 有馬さん・杉浦さん・池端さん・長岩さん・光川さん・和泉

### リカバリハウス

いちご

2月20日(土) 東住吉区矢田の「リカバリハウスいちご(断酒の会)」で汽車型エンジンピツ立て作りを行いました。ここはアルコール依存症の方が立ち直りを目指して活動されている会です。

対象が大人ですので下準備をあまりせずに、なるべ



くご自分で作ってもらおうという計画し、原木を切る。この制作でしたが、池端さん指導のもと約10名の

参加者は3時間かけて完成に至りました。皆さん目標をもって取り組むことに一所懸命でした。

私は依存症の人と接したことがなく始まるまで不安がありました。普にしていればいいことがわかり、いい経験をさせていただきました。みなさんありがとうございました。

参加者 有馬さん・池端さん・光川 環代

### クリスマスツリー

200個の手づくり

西成区民クリスマススイベントおもちゃ図書館パンダ200個の手づくり

是非お願い致します。一言でお引き受けすることになりました。又、ちょうど開催時期がクリスマス前なので来場の方々にきつと「喜んでもらえる」ということで200名分を用意するよう依頼をお受けしました。

9月、10月頃まではなんとかなるだろうと平然としていました。実施に向け準備を始めると、これがなかなか簡単なことではなかったのです。なにしろ200組の材料を準備するなんて初めてのことで、「親子の皆さんに楽しく作ってもらえて、しかも可愛い出来上がり」の。皆で案を出し合い試作をしたり、いろいろと検討の後、いよいよ材料の買出しに向かった所、200組分はそう簡単には揃わない。例えば飾り付けのモール一つにしても百円ショップを何軒も駆け回り何とかの確保にたどり着いたという状況でした。



メンバー 有馬・杉浦・津田・長岩・光川・池端 (池端 一義)

さあ、いよいよ本番当日、事前打合せのり材料の袋詰めやらメンバーの担当役割決め等準備OK。開場の案内で一斉にドドッと来場の皆さんが飛び込んで来ました。いろいろな催しの中、予想どおり「手づくり

クリスマスツリー」が一番人気でたちまち大賑わい。いに準備した200組の材料は全て終了。開始から終了までほんの一息も入れられない大盛況ぶりに、一同は思わず顔を見合わせ「苦勞した甲斐があつたな」とやっと思。一所懸命作ってもらった可愛いクリスマスツリーはきつと皆さんの楽しいクリスマスに、この上ない宝ものになることでしょう。後になりましたが西成区社会福祉協議会の繪本さまはじめ皆さんには何かとご配慮をいただき、本当にありがとうございました。これから一層、楽しんでいきます。